

神納地域まちづくり新聞

Vol. 19
2018年
2月1日号

住民アンケート調査の集計結果と分析がまとまりました。

報告会での意見交換の様子



平成29年7月から8月にかけて実施した住民アンケート調査の集計結果と分析がまとまり、平成29年11月24日(金)、有明集落開発センターを会場に、報告会を開催しました。

当日は、まちづくり協議会の代議員・運営委員を対象に、都岐沙羅パートナーズセンター理事の斎藤主税さんからアンケートの分析結果を報告いただいた後、出席者同士で意見交換を行いました。

アンケート結果の概要とポイントとは下記のとおりです。

アンケートにご協力いただき、大変ありがとうございました。

アンケート結果から見えるポイント

アンケート結果	ポイント
<p>【回答者の属性】</p> <p>年齢と仕事の問いを見ると… 農業従事者の79.7%が60代以上という結果でした。</p>	<p>このままだと、20年後は100人程度になる!? 将来的に農地の維持管理はどうする？</p>
<p>【日常的な交通手段】</p> <p>80代になると車を運転する人の割合が減少 (70代→80代：男性▲32%、女性▲52%)</p>	<p>日常生活での移動が困難になる人が確実に増加! 移動の支援を考えていく必要があるのでは？</p>
<p>【インターネットの利用割合】</p> <p>全体の半数以上(53.9%)がインターネットを利用 (40代以下は約9割、50代でも約8割) (大半がスマホ・携帯で利用している人でした。)</p>	<p>50代以下はインターネットでの情報伝達が効果的!? (回覧板は若い世代の人が見ないうちに回ってしまっていることがある?)</p>
<p>【地域活動への関心】</p> <p>「関心はあるが参加していない」(29.1%)が最も多く、20代男性(39.9%)、40代男性(29.3%)は、他年代性別と比較しても高い割合でした。</p>	<p>「地域活動に参加していない＝関心がない」という訳ではない!?→「余裕がない」という理由が多く、多様な関わり方を設けることで参加の可能性は十分あるのでは？</p>
<p>「関心はないし参加もしていない」人は、10代男性(28.7%)、20代女性(49.3%)が特に多いという結果でした。</p>	<p>参加しない理由を深掘りしていくことが重要! 地域の中で少数になった若い人たちの声に真摯に耳を傾ける必要があるのでは？</p>

若い世代の地域離れが進んでいるが、地域に愛着のある人も多い

アンケート結果

ポイント

【女性・若者の声を反映する必要性】

地域全体では半数以上が「必要」と考えており、40代～60代の男性は約65%が「必要」と答えています。

役員世代も中堅世代も、もっと女性・若者の声を反映すべきと考えている!?

声を反映させる場や機会の充実が必要では？

【定住受入の必要性、他地域との交流の必要性】

定住者の受け入れについては4割以上の人々が「必要」と考えているが、「わからない」という人も1/3
他地域との交流の必要性については「必要」と「わからない」がほぼ同じ割合(1/3)

人口減少対策として他地域からの移住・定住者の受け入れが必要と考えている人もいるが、今ひとつ実感がないという人も多い!50代、60代は「必要」と考えている。

【この地域・集落に住み続けたいと思いますか?】

神納地域では「住み続けたい」と答えた人は64.3%で、**神林地区5地域の中で比較的高い割合**でした。特に

10代と20代は「住み続けたい」という割合が地区平均よりかなり低い!?

若者が住み続けたいと思う神納地域にするには？

【自分の子供にもこの地域・集落に住んでほしいと思いますか?】

地域全体では「住み続けてほしいと思う」が53.9%で、これも**神林地区の中で比較的高い割合**でした。
しかし、子育て中の30代男女、40代女性が地区平均より低く、「思わない」という割合も高いという結果でした。

子育て中の親世代(30代～50代)の「住み続けてほしいと思う」割合が低く、このままだと**人口減少(流出)**はさらに進行する可能性がある!?

【この地域・集落に愛着がありますか?】

地域全体では「愛着がある」と答えた人は65.6%。
やはり若い世代(10代～30代)は、他年代に比べ「愛着がある」と答えた割合が低く、「愛着がない」と答えた割合が高い結果となりました。

神納地域では、若い世代の「地域への愛着」の傾向が低めであるが、他地域に比べ世代間のギャップは大きくない。

しかし、この地域に「愛着がある」人が比較的多い。

【地域・集落内で誇りに思っているものは何ですか? (複数回答)】

誇りに思う地域資源のトップ5は

①域内の景観・自然環境	50.2%
②地域内に暮らす人々	31.0%
③地域内の助け合いなどの社会関係	22.6%
④地域内の諸行事(祭り、イベント等)	18.9%
⑤地域内の特産物(農林水産物、加工品等)	13.7%

地域の素晴らしい**地域資源**(山、川、田園風景等)や**人々**人情を大切にし、盛り上げることが誇りになる!?

一方、若い世代になるほど、誇りに思っているものが「無い」と答える割合も高くなり、**世代間の意識の違い**にも目を向ける必要があるのでは？

地域に愛着のある人をさらに引き付ける地域づくりが必要！

アンケート結果

ポイント

【近所づきあいでの悩み（複数回答）】

全体の6割近くが「悩みなし」と回答 40～60代は「忙しすぎる」という悩みが、80代は「仲間がほしい」という悩みの割合が高い傾向	人が減っているのに、役割・仕事量が変わらなければ 負担感が増す のは当然!? 今後さらに人が減れば、回らなくなるのでは？
---	--

【日常生活で不安に感じていること・困っていること（複数回答）】

不安・困りごとのトップ5は、	
① 農地・山林の維持管理 22.8%	50・60代でトップ →40代以上では上位にランクイン
② 健康面への不安がある 21.6%	70・80代でトップ →50代以上で上位にランクイン
③ 玄関先の雪のけなど冬季の除雪 20.8%	ほぼ大半の世帯にランクイン
④ コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便 12.4%	10～30代で上位に →20代：1位/ 10代：2位
⑤ 仕事や雇用面 13.6%	20～40代で上位に →30代、40代：1位/ 20代：2位

※要注意（特に注意すべき80代以上の困りごと）

④ コンビニ・商店が少なく、日の買い物が不便 17.9%	10・20代でも上位にランクイン（80代では第4位） →交通弱者が上位にランクイン?
③ 買い物・通院などの移動手段（交通手段） 7.2%	10・20代でも上位にランクイン（80代では第3位） →多数派ではない世代の若者を丁寧に着目する必要！

【取り組みの満足度と重要度の評価】

今後、重点的に取り組むべきテーマのトップ5は、	
① 状況把握・持ち主との交渉など、 空き家の管理活動	30～60代は、この必要性を強く感じている →今後も空き家は増える可能性が大
② 買い物・通院など、 移動支援活動	30～60代は、この必要性を強く感じている →親や祖父母世代の移動支援を求めている
③ 婚活イベント・紹介など、 結婚対策	特に50～60代が、最も必要性を感じている →若い世代よりも、親・祖父母世代が心配している
④ 農地・山林などの、 維持管理活動	50代以上が、この必要性を強く感じている →これまでの取り組みをさらに充実させる必要が
⑤ 見回りなど、 防犯・交通安全活動	30～40代は、この必要性を強く感じている

自由記入のご意見・ご提案など(抜粋)

- 友人、知人、親戚等の付き合い方、考え方等の違う人が集まって行動を共にするのは企画、計画、行動時間の調整等、難しいことが多いと思います。地域の活動も多様化し、多くなっている気がします。本当に必要な活動を精査しないと束縛感を強く感じます。
- 地域の人が優しいところがいい。環境整備もきちんと行われていていい。行事など積極的に参加する人がいい。
- この地域はイベントに対して積極的なところがいいと思う。大人だけでなく子供たちも楽しめるイベントがあっても良いと思う。
- 区長さんが良い人だと思います。お年寄りの人たちが地域について話したりとても楽しそうです。地域ごとの行事がとても充実していると思います。これからも若者男女問わず地域の人と仲良くしていただきたいです。
- 自然がこのまま、人と共存できたらいいと思いますし、災害のない地域であつたらいいのではと思います。人口が減っていて若い人が少なく出生率も低くなってきているので若い人がとどまってもらえるものがあつたらいいと思います。
- 人口減少している中で集落を維持するため、村の役員や消防等々、複数の人数の役員を選出しなければいけません。もっと少人数で集落を維持できるシステムになればいいと思う。少人数になれば村の維持も目が届かなくなり粗くなり、無理な注文かもしれません。簡単に言えば、村の役員だと区長の他に衛生自治会、環境整備とか何人かを選出しなければいけません。それが数年以内に交替で変わりますが、今までは年功序列に変えられましたが、後継者がいなければダブったりしてきています。それで仕事もやっているため余裕がなくなります。何か良い知恵があれば国、市に求めたい感じです。
- 区はじめ老人クラブや諸団体との協力体制が整っており各種行事と参加者が大勢おり、とても良い地域だと思っている。また親戚との交流もうまくいっていると私には思えるので現在は安心して生活ができています。そして、自分や家族が健康であり、多少のボランティア活動を今できていることがとてもうれしい。
- 老人ひとり暮らしの実態にもう少しご理解をいただきたい。通院に不便さを感じている。タクシーは高すぎて利用できない。また福祉タクシーも、利用手続きに手間がかかる。電話対応もよくない時がある。利用しやすく工夫していただきたい。不便な地域に援助をお願いしたい。危険状態にある空き家については行政が何とか解決に向け動いてほしい。ホームレスの人が入ったら怖い。何とかしてほしい。
- 集落の行事が衰退してきている。もっと新しい取り組みを取り入れ住民が参加したくなるようにすれば地域活性化につながるのではないか。
- 地域活動等に若い人が活動しやすい環境づくりをしていただきたい。

※このアンケート調査は、中学生以上全員を対象に、神林地区の5つのまちづくり協議会が同時に実施しました。

【神納地域】配布数：1,664 通、回収数：1,319 通、回収率：79.3%

地域の情報をおよせください。

ご意見・ご感想・問い合わせは

■ 神林支所地域振興課自治振興室

■ 電話・告知端末 66-6122

■ メール

k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

■ ホームページ URL

http://www.city.murakami.lg.jp/



※今回のアンケート結果の詳細については、村上市のホームページでご覧いただくことができます。
ホームページの右上バナー(市民協働のまちづくり)からアクセスするか、インターネットで「神納地域まちづくり協議会」を検索してください。

1 意見を寄せてください
当協議会では、来年度から始まる第3期まちづくり計画(3カ年)を検討しています。このアンケート結果などをふまえて、各集落で話し合いを進めていただき、これからの地域づくりにつなげていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。